

キャラクター名
成瀬 真由理

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー キュマイラ		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	恐怖		初期侵食率	34 %
出自	姉妹	経験	トラウマ	邂逅	玉野 椿	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	5	0	0			5	行動値	3
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
[26] 垂純血/デミブリードP		N		
最愛の妹/成瀬 真姫奈P	慈愛	N 恐怖		
神無月 光	P 慈愛	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
魔獣の本能	1	2	メ/リ	なし	なし	なし	なし	
効果: 【RC】判定を【肉体】で行う								
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動	なし	
効果: 【肉体】判定+Lv+2								
魔獣の衝撃	1	2	メジャー	視界	なし	対決	なし	
効果: 攻撃力:+5、判定ダイス+Lv、1回/1R								
焦熱の弾丸	1	1	メジャー	視界	なし	対決	なし	
効果: 攻撃力:+Lv+2								
クロスバースト	3	4	メジャー	なし	なし	対決	80%	
効果: 攻撃力+Lv×4、ダイス-2								
プラズマカノン	3	4	メジャー	視界	単体	対決	100%	
効果: 攻撃力+Lv×5								
結合粉碎	1	4	メジャー	なし	なし	対決	ピュア	
効果: 装甲無視、判定ダイス+Lv								
コンセントレイト:キュマイラ	3	2	メジャー	なし	なし	なし	なし	
効果: C値-Lv								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とある支部に所属する一介のUGNチルドレン。勉強運動ばかりで、容姿や性格もパツとしない上、対人恐怖症であるため気軽に話せる友達が一人もいない。しかし、オーヴァードとしての実力はチルドレンながら目を見張るものがあり、現在はその力を生かして自分の家族が住まう町の平和を守れることを誇りに思っている。非常に臆病で人見知りな性格をしているが、その奥に隠れているのは極めて善良で心優しいものであり、親しい人物ならば誰もがそれを知っている。

幼少期から非常に内気で人見知りな性格であり、対人関係では失敗続きでいつしか恐怖症になる。そのような性格に加えて何をやらせても人並み以下であったため、当然の如く格好のいじめの標的になり、その有り様は思い返すだけで身震いが収まらなくなる程であった。いまだ他人の痛みを慮れない無邪気な子供達の暴力が自分に向いているだけならばいくらでも耐えられたのだが、ある日それが妹にまで及んでいたのを目撃した。その日、何があったかは現在思い出せないが、クラスメイト6名がこの世を去り、一年間に渡ってUGNに隔離されたという事実と……肉を切り裂く感覚を思い出すことでいつでも顕現させられるオーヴァードの力だけが残った。隔離されていた一年間は、玉野 椿を初めとする上級生やエージェントの指導の下、力のコントロールの仕方を学んだ。強力なキュマイラの力を持ちながらも件のトラウマから自らの手で誰かを傷つけることが耐えられず一時期伸び悩むが、椿のアドバイスを参考にもうひとつの力であるサラマンダーとのコンビネーションを生かした現在の戦闘スタイルに落ち着く。事件のことからか妹からは一方的に罵られ、避けられることが多いが、今でも大切な妹であることには変わりない。

とある事件にて、一人の少女を救い出した。彼女との関係性は友人とも師弟とも形容しがたいが、大切な人の一人であることは確かである。少女とのロイスと、一本の少女趣味じみたステッキ。これらは彼女に少しだけ、でも確かな自信を与えた。